

カナダ西部の果樹園芸 I

北海道大学農学部助教授 八 鍬 利 郎



① オカナガン湖畔の果樹園遠望

オカナガン湖の水の色は毎日変化しその美しさは常に人々の目を楽しませてくれる。この附近一帯はオカナガン峡谷と呼ばれ観光地として知られているが、カナダ西部を代表する果樹地帯でもある。栽培面積は13,300 haで主な果樹はリンゴ、ナシ、桃、桜桃、杏、李といったところである。



② 回転式スプリンクラーによる灌水

この地方は年間降水量僅か 290mmの乾燥地帯であるので、灌水なしには果樹栽培は成り立たない。戦前は溝灌漑を行っていたが現在では80%が回転式スプリンクラーを用いている。水圧は25~40ポンドで、一定間隔にスプリンクラーをつけたアルミニウム管を樹間に這わせて灌水すると幅6~9mの帯状に灌水される。これを12時間毎に移動し、果樹園全体が灌水し終ると再びこれを繰返す。



③ シューカー式摘果機の試験風景

リンゴの薬剤摘果はすでに実用化され、撒布曆にも載っているが、桃、杏、李については未だ適当な摘果用薬剤が見つかっていない。それで加工用果実の収穫に使うシューカーで機械的にふるい落す試験が試みられている。しかし果実全部を落せばよい収穫とは違って、適当に間引くということは機械だけではなかなか理想的には行かないようである。この方法と手による摘果を併用すればかなりの省力に役立つだろう。



④ 黒色種桜桃「ヴァン」の見事な成熟

この地方の甘果桜桃は黒色種が多い。「ヴァン」はサマールランド研究所で育成された新品種で、すでにこの地方ではかなり栽培されている。皮肉なことに、この寡雨地帯でも、桜桃の収穫期に必ず一度降雨があって裂果が大きな問題となっている。「ヴァン」の特性の一つは裂果しにくいことである。黒色種の成熟果は大量罐詰にも加工され、桃や洋梨のシラップ漬同様に利用されている。



⑤ 全面が真紅に色づいたレッド・デリシャス

「着色のよいこと」これは果実の最も大切な要因の一つとされている。従ってデリシャス系も普通デリシャスは殆ど姿を消し、ハロルド・レッド、スタークリムソン、インペリアルなどのレッド・デリシャス系に置き代わっている。夏の日照時間が多いこと、人工的に水分を自由に調節出来ること、それにチツを多く使わない肥培管理により、果実の全面が見事に着色し、品質、味もすばらしい。